

『学習力を育てる日本語 教案集』出版記念 子どもへの日本語学習支援の取り組み その実践と成果

日時 2019年12月14日(土) 13:30～16:30 (13:10 受付開始)

会場 中野サンプラザ 研修室 13 (東京都中野区中野 4-1-1)

参加費 300円 (資料代・当日現金にてお支払い)

お申込み <http://www.9640.jp/gakkai/3344/> (くろしお出版ウェブサイトより)

お問い合わせ先 TEL 03-6261-2867 FAX 03-6261-2879 メール kurosio@9640.jp

講師

田中 薫 (とよなか JSL 子ども日本語教育スーパーバイザー)

大阪教育大学教育学部附属平野中・高等学校、台湾高雄日本人学校、大阪市立中学校で美術教諭を経て、1989年から大阪市立豊崎中学校の帰国した子どもの教育センター校で16年間、また大阪市立中学校で5年間校内で日本語指導担当。その後、公益財団法人とよなか国際交流協会子ども日本語教育スーパーバイザーとして、子どもの日本語指導ボランティア集団「とよなか JSL」を結成。2007年に、博報児童教育振興会より「第38回博報賞(国語・日本語部門)」受賞。

とよなか JSL

市民ボランティアにより結成された日本語指導者グループ。日本語学習が必要な児童生徒(主に義務教育年齢の子ども)を対象として、的確な日本語力診断に基づいた、教科学習に結び付く日本語学習法の指導及び支援を行う。

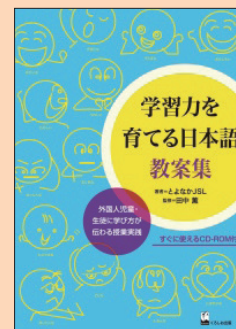
【講師より】

今年4月、出入国管理及び難民認定法が改定され、外国人労働者の受入拡大が始まりました。これから、ますます地域で暮らす外国人が増えることが予想されます。

とよなか国際交流協会では、市民ボランティアにより結成された日本語指導者グループ“とよなか JSL (Japanese for School Life)”とともに、自主的な活動から豊中市との協働事業や委託事業など、さまざまな形態で子どもへの日本語学習支援を実施してきました。

この講座では、子どもへの日本語学習支援の活動を振り返るとともに、その活動において、1年余りで学習力が身につく「とよなか JSL」の指導を、授業のビデオや教案などで紹介します。先日出版された『学習力を育てる日本語教案集 外国人児童・生徒に学び方が伝わる授業実践』(くろしお出版)の活用方法を具体的に知ることができます。教案・指導資料の活用と子どもの導き方などをヒントに、様々な角度から皆さまと共に外国につながる子どもの支援を見直す機会にしたいと思います。

また、「外国人と共に家庭や学校でも使える漢字トランプカード」の使い方も実演するので、参考になるとと思います。相談や聞きたいことがある方も大歓迎! ぜひお気軽にお越しください! お待ちしています。



主催 くろしお出版

※このイベントは、2019年11月10日に公益財団法人とよなか国際交流協会(大阪府豊中市)で開催されものと同じ内容です。